令和８年第６回定例会一般質問通告事項

	村　井　温　子　議　員（潮風おのみち）	質問方式：一問一答方式
12 月 ３ 日	1　2040 年を見据えた尾道市の教育のあり方について 国の第４期教育振興基本計画や、次期学習指導要領等に向けた審議まとめでは、2040 年代以降の社会を見据え、子ども一人ひとりの多様性を尊重し、主体的で深い学びを実現する教育の方向性が示されている。 その実現には、子どもたちを既存の学校の仕組みに合わせるのではなく、一人ひとりに応じて学校の仕組みや教育環境を変えていく視点が必要である。 本市では、次期尾道教育総合推進計画、教育大綱及び新たな学校再編計画の策定を控えており、今こそ将来の教育のあり方を描き、その実現に向けた準備を進めるべき時期にある。 以上の観点から、次の５点について伺う （1）2040 年を見据えた教育の未来像と、次期学習指導要領に向けた準備について ア　次期学習指導要領の改訂が学校教育にもたらす変化と、2040 年代から 2050 年代を見据えた本市の学校教育の未来像について、教育長の見解を伺う イ　次期学習指導要領が目指す教育の実現に向けた本市の課題と不足、教育環境・教員の指導体制の整備に係る優先順位と工程、次期尾道教育総合推進計画への位置づけについて伺う （2）特別支援教育の知見を活かした教育改革と学級規模について ア　特別支援教育で培われた知見を通常学級を含む学校教育全体に活かすことについての見解を伺う イ　一人ひとりに応じた教育を実現するための望ましい学級規模や教員配置について伺う （3）チーム担任制による児童生徒支援体制の充実について ア　チーム担任制について、子どもの安心できる学校環境づくりと教員の協働体制の両面からの認識を伺う イ　学校規模や実情に応じた導入可能性、調査研究やモデル的な取組について伺う （4）多様な学びの場と選択肢の保障について ア　多様な学びの場や学び方の選択肢を公教育として保障する必要性についての認識を伺う イ　今後、本市として特に充実させる必要があると考える学びの選択肢について伺う	

12 月 3 日	(5) 次期尾道教育総合推進計画、教育大綱及び新たな学校再編計画について ア 次期尾道教育総合推進計画と新たな学校再編計画の連動、教育の未来像を具体的な学校づくりにつなげる方針について伺う イ 新たな学校再編計画に学級規模、教員配置、多様な学びの選択肢などの教育的視点をどう反映するか伺う ウ 次期尾道市教育大綱の策定にあたり、市長が重視する教育の基本方針と、多様な学びの保障に向けた市政全体の役割について伺う